

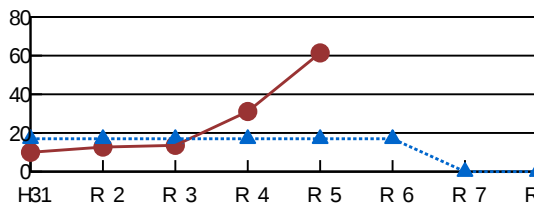
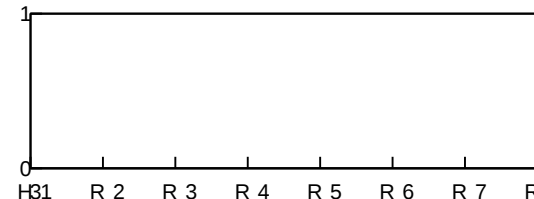
総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-861-0244
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	高等学校カウンセラー配置事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】					
事業の概要	専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、スクールカウンセラーが生徒の不登校や問題行動等に対応するため生徒や保護者等へのカウンセリングを行い、生徒がよりよい学校生活をおくることができるよう助言・援助を行う。事業主体である県に対し、配置に要する経費の2/3を負担する。				
6年度概要	スクールカウンセラー 1人 年間42回 1回3～4時間				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】	
対象（何を）	生徒等
意図（どのような状態にしたいか）	生徒が長期欠席から不登校・中途退学へ至るのを防ぎ、学校に通学できるようにする。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
各種相談件数	件	118	259	480	150	150

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	全校生徒に対する相談件数の率		%	目標値	17	17	17	17	17
				実績値	13.6	31.1	61.4		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 相談件数は増加傾向にある。								
									35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	23,272	23,097	23,121	543
（事業費）	〔円〕	622	645	540	543
（職員人件費）	〔円〕	22,650	22,452	22,581	0

【評価】			
評価ランク （ A ～ D ）	A	今後の方向性 （ 拡充、継続、改善継続、縮小、廃止 ）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、生徒の不登校や問題行動等に対応するため、生徒や保護者等へのカウンセリングを実施し、助言・指導を行った。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
生徒がよりよい学校生活を送ることができるよう、不登校や問題行動に対応するため、専門家によるカウンセリングを引き続き実施する。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	小中一貫・連携教育推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松第一学園において実施している義務教育9年間の連続性、発展性に留意した小中一貫教育を充実させるとともに、その成果を踏まえた小中連携教育を全市立小・中学校で推進する。				
6年度概要	- 小中一貫教育の成果を踏まえた全市における小中連携の推進 ・高松みらい科（環境教育・キャリア教育）、小学校英語教育の成果 ・9年間を見通した系統的・継続的な学習指導、生徒指導 - 各中学校区における小中交流会等の事業開催				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

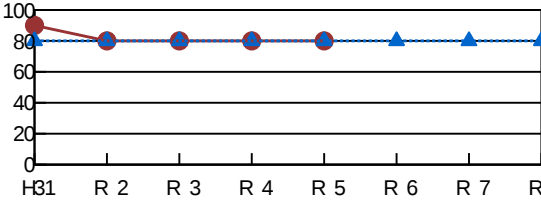
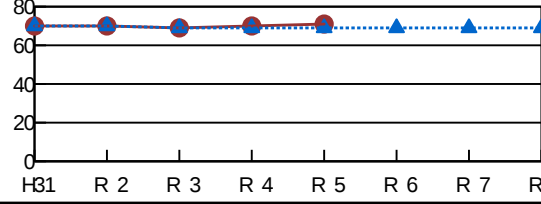
【事業の目的】

対象（何を）	- 高松第一学園の児童生徒 - 各中学校区の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	義務教育9年間の連続性、継続性・発展性に留意した学校運営を行うことにより、教育内容、指導方法等の改善を図り、子どもたちの確かな学力や豊かな人間性、健やかな体を育む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
「高松みらい科」授業時間数	時間	470	270	420	470	470
小中連携教育の実践中学校区数	校	22	22	22	22	22

【事業の成果】

	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	「英語」・「高松みらい」の授業についてのアンケート支持率	%	目標値	80	80	80	80	80
成果指標			実績値	80	80	80		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 「高松みらい科」にみられる、キャリア教育、環境教育などについて、小中が連携して教育を行う素地となっている。 							（達成度） 100.0% 35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	小中連携教育の実践校数	校	目標値	69	69	69	69	69
成果指標			実績値	69	70	71		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 全ての小・中学校で各中学校区の実情に応じた取組を行い、目標は達成できている。 							（達成度） 102.9% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	3,775	3,742	3,764	3,764
（事業費）	〔円〕	0	0	0	0
（職員人件費）	〔円〕	3,775	3,742	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】 （評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。			
【今後の事業方針】 （評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 全体的には小中学校間の円滑な教育の接続、中1ギャップの解消を図ることを引き続き目指す。個別には学習面でのサポートの必要な子どもたちへのサポートを充実させる。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校図書館活性化推進事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	学校図書館用図書の一層の効果的活用を図るとともに、児童・生徒の個性を伸ばす教育に資するため、学校図書館指導員を学校に配置し、情報提供等の支援を行う。学校図書館の効果的な運営を行い、本の読み聞かせなどを通して、感動する本と出会い、読書をする機会を創出することで豊かな心を育み、知的な好奇心を高める。学校図書館の収集、選択、整理、発信等の力を高める。				
6年度概要	小学校47校、中学校22校に学校図書館指導員（60人、6時間/日）を配置し、情報提供等の支援を行う。図書館ボランティアネットワークがかわとの協働事業の活用親子読書活動の推進				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型		ソフト事業（法律による実施義務有）

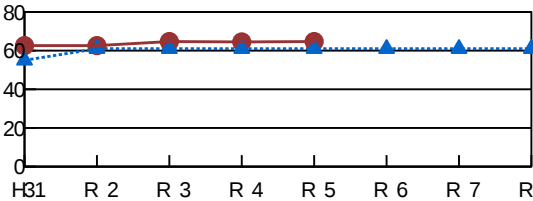
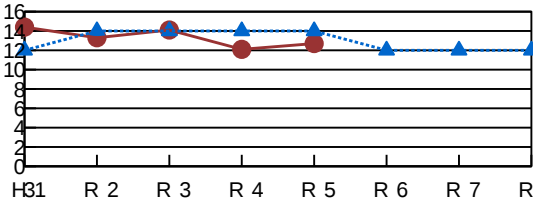
【事業の目的】

対象（何を）	市内小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	児童生徒の読書への関心を高める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
指導員延べ年間活動日数	日	12,462	12,462	12,060	12,060	12,060

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	児童1人当たりの学校図書館図書の貸出冊数	冊	目標値	61	61	61	61	61
			実績値	64.7	64.5	64.7		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 学校図書館指導員を配置したことで、児童が図書室を利用する機会が増え、読書意欲もさらに高まっており、目標を達成できている。	（目標達成度） 						（達成度） 106.1% 35点
	生徒1人当たりの学校図書館図書の貸出冊数	冊	目標値	14	14	14	12	14
			実績値	14.1	12.1	12.7		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 学校図書館指導員を配置したことで、生徒が図書室を利用する機会が増え、読書意欲もさらに高まっていると考えられる。	（目標達成度） 						（達成度） 90.7% 31点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	175,756	177,727	184,838	210,928
（事業費）	〔円〕	171,981	173,985	181,074	207,164
（職員人件費）	〔円〕	3,775	3,742	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 配置の見直しや学校現場における活用を推進するなど、事業の費用対効果を高める方策を検討し、学校図書館の一層の充実、利用促進を図っていく必要がある。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-2163
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	不登校対策事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	・不登校に関する支援活動 ・不登校児への見守り活動 ・不登校児に対する心理的ケア等を行う。 ・不登校児の学習環境を整える。 ・不登校児の生活リズムを整える。 ・不登校児の社会性を高める。					
6年度概要	教育支援センター（適応指導教室）の運営に加え、「不登校に関する援助推進委員会」や「不登校を考える会」を実施することで、不登校対応の環境整備を行う。					
重点取組事業			市長マニフェスト			事務事業の種類
						ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市立小中学校児童生徒、保護者、学校、関係機関
意図（どのような状態にしたいか）	不登校傾向にある児童生徒の状況を把握し、状態の悪化を防ぐとともに、不登校児童生徒の居場所づくりや社会的自立を促す支援に努める。

【事業の活動】

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
教育支援センター（適応指導教室）延べ開室日数	日	201	200	199	202	200

【事業の成果】

【事業の成果】		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）							
	適応指導教室通室児童生徒の学校復帰率	%	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	43.6	31.1	42		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	体験活動を工夫したり、個に応じたきめ細かな支援を実施したが、年々、不登校になる要因が多様化しているため、目標には達しなかった。	（目標達成度）						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		（目標達成度）						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	円	33,555	40,579	44,726	50,173
（事業費）	円	26,005	33,095	37,199	42,646
（職員人件費）	円	7,550	7,484	7,527	7,527

【評価】

評価ランク (A ~ D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
--------------------	---	--------------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

「高松市不登校Ｑ＆Ａ」を大幅に改訂したり、保護者向けガイド「子どもが学校に行かないと言ったら」を発行し、高松市の取組みを広めるとともに、電話での不登校相談やカウンセラーの面談による相談に応じられるようにし、支援の充実を図った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

事業は計画的に実施できているが、事業の見直しも含めて事業の在り方も考えながら、今後もニーズに合った事業を展開する予定である。

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進	事業実施主体	市	
	事務事業	教育文化振興事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	教育文化祭（音楽会・科学展・展覧会等）を通して、児童生徒の豊かな創造力と表現力を育て、情操を高めるとともに、日常の学校教育活動の成果等を広く市民に紹介する。				
6年度概要	教育文化祭の開催（展覧会・音楽会・科学体験発表会） 香川県小・中学校文化連盟補助、文化部の大会参加補助				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

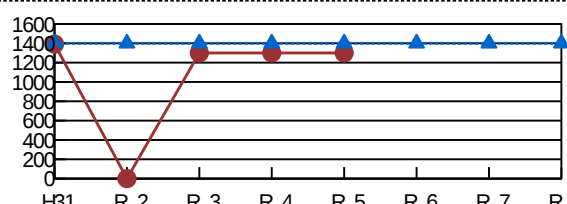
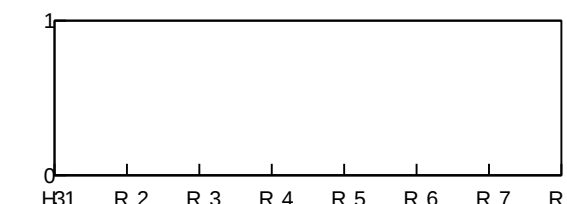
【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	児童生徒の豊かな創造力と表現力を育む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
教育文化祭の開催回数	回	3	3	3	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	展覧会の作品点数	点	目標値	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
			実績値	1,300	1,300	1,300		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 概ね実施することができた。							(達成度) 92.9%
	(目標達成度)							32点
								
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	5,466	7,407	8,311	10,740
（事業費）	〔円〕	1,691	3,665	4,547	6,976
（職員人件費）	〔円〕	3,775	3,742	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施ができた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 文化芸術活動の活性化を図るため、今後も引き続きより良い方法について検討を行う必要がある。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	児童生徒指導推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	小学校の生徒指導の充実を図るため、学校、地域に関わりの深い人材を「学校生活支援員」として配置する。また、中学校の生徒指導の充実を図るため、社会福祉士等の資格を有する「スクールソーシャルワーカー」を中学校に配置し、関係機関等のネットワークを活用して、児童生徒を取り巻く環境を整備することにより、暴力行為などの問題行動や不登校の未然防止と早期解消を図る。また、いじめ相談の体制強化のため「いじめ相談専門員」を配置するもの。				
6年度概要	スクールソーシャルワーカー（18人）を中学校に配置する。 いじめ相談専門員を配置し、相談体制の強化を図る。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

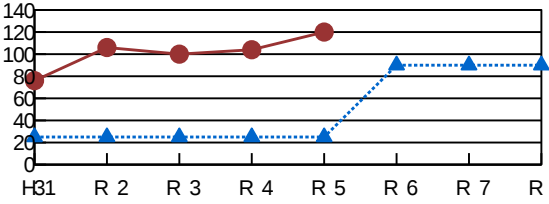
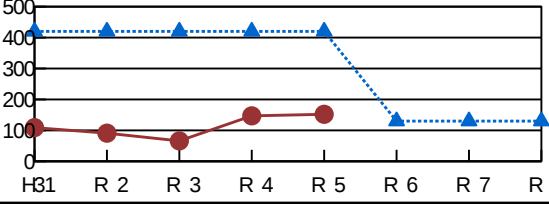
【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	学校の生徒指導の充実と相談体制の強化を図り、地域の教育力を生かしながら児童生徒の健全育成を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
スクールソーシャルワーカー（SSW）延べ派遣回数	回	2,852	3,186	3,694	4,560	4,560

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	小学校における暴力行為の発生件数	件	目標値	25	25	25	90	25
			実績値	100	104	120		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 0 %
	学校生活支援員の配置が、暴力行為発生件数の抑制に一定の効果があると考えられる。また、問題の発生した後の速やかな収束、解決の一助となっている。							0点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	中学校における暴力行為の発生件数	件	目標値	420	420	420	130	420
			実績値	66	147	152		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 163.8 %
	スクールソーシャルワーカーの配置が、暴力行為発生件数の抑制に一定の効果があると考えられる。また、問題の発生した後の速やかな収束、解決の一助となっている。							35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	144,619	104,285	117,846	141,308
（事業費）	〔円〕	123,252	89,317	102,792	126,254
（職員人件費）	〔円〕	21,367	14,968	15,054	15,054

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
学校現場に制度が浸透するにつれて、事業の目的に合った人材活用を行うことができるようになってきている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
スクールソーシャルワーカーについては、今後、全ての小・中学校への配置を目指し拡充する。 学校生活支援員については、学校現場がより効果的に活用できるよう弾力的な配置を行っていく。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-6300
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校給食推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

事業の概要	児童生徒が学校給食を通じて、正しい食習慣や健康管理能力を身に付けることができるよう、給食関係職員への研修等を実施し、学校における食に関する指導の充実を図るとともに、各衛生検査の実施により、衛生管理の徹底を図る。				
6年度概要	栄養教諭・栄養職員・教職員・調理従事者に対する研修会の実施 学校給食研究会への補助 各衛生検査の実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

事業の目的					
対象（何を）	栄養教諭・栄養職員・教職員・調理従事者				
意図（どのような状態にしたいか）	学校給食に関する知識の習得等により、資質等の向上及び学校給食の充実を図る。				

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
研修開催回数	回	13	12	16	16	11

事業の成果	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標	研修参加率	%	目標値	95	95	95	95	95
			実績値	96	93	93		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことにより、学校行事や他研修会等との重複などによる欠席者があり、目標が達成できなかった。							
	(目標達成度)							
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

コストの推移	指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
	トータルコスト	〔千円〕	12,150	13,512	14,204	16,000
	（事業費）	〔千円〕	5,355	5,280	5,924	7,720
	（職員人件費）	〔千円〕	6,795	8,232	8,280	8,280

評価	評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）				
学校における食に関する指導、危機管理、学校給食における衛生管理、新しい献立の開発等をテーマに研修を実施した。学校行事や他研修会等との重複などによる欠席者があり、目標が達成できなかった。研修内容については、今後も、現場の状況や要望に応じたテーマを、随時検討する必要がある。				
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）				
研修内容について、現場の状況や要望に対応できるよう、毎年見直しを行う。				

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2657
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	生徒等健康診断事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	児童生徒等の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とし、学校保健安全法に基づき、毎学年6月末までに児童生徒等の健康診断を実施するとともに、小児生活習慣病予防検診を実施する。また、翌年度に小学校に就学する児童の健康状態等を把握するため、学校保健安全法に基づき健康診断を実施する。				
6年度概要	小学校児童の健康診断、小児生活習慣病予防検診 中学校生徒の健康診断、小児生活習慣病予防検診 高等学校生徒の健康診断 就学時健康診断				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

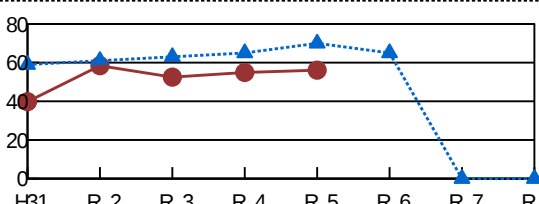
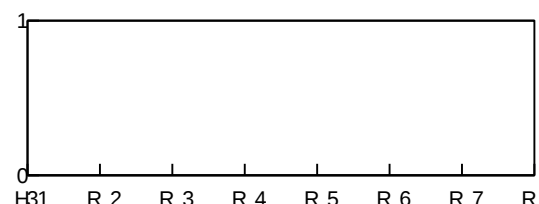
【事業の目的】

対象（何を）	高松市立の小中学校及び一高の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	疾病の早期発見、治療指導等保健管理の充実を図る。 子どもの頃から自分の健康状態を知り、よい生活習慣を身につけるとともに、生涯にわたって健康な生活を送ることができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
学校医出校指導のべ回数	回	1,545	1,700	1,731	1,700	1,600

【事業の成果】

【事業の成果】		成果指標名（どのような成果が得られたか）							単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5				
成果指標	二次検診の受診率										%	目標値	63	65	70	65	70		
												実績値	52.5	54.9	56.1				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）																	(達成度)	80.1%
	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響に伴い、受診機会が減少している状況の中でも、受診率は改善傾向にある。小児生活習慣病予防検診に対する意識啓発が浸透してきていると考えられる。										(目標達成度)							28点	
成果指標名（どのような成果が得られたか）											単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5		
成果指標												目標値							
												実績値							
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）																	(達成度)	
											(目標達成度)								

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	166,448	164,583	155,492	157,697
（事業費）	〔円〕	155,123	153,357	144,201	146,406
（職員人件費）	〔円〕	11,325	11,226	11,291	11,291

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

子供の時に身につけた生活習慣は大人になっても続くことが多いことから、生涯にわたって健康な生活を送ることができるよう、早い時期からよい生活習慣を身につけることが大切であるため、家庭等と密に連携しながら、児童生徒等の健康の保持増進を図る。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

子どものときに身につけた生活習慣は大人になっても続くことが多いことから、生涯にわたって健康な生活を送ることができるよう、早い時期からよい生活習慣を身につけることが大切であるため、家庭等と密に連携しながら、児童生徒等の健康の保持増進を図る。

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2657
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	高松市学校給食会補助事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	学校教育の一環として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実発展を図るとともに食育の推進を支援することにより、児童生徒の心身の健全な発展並びに市民の豊かな食生活の実現に寄与することを目的とした、（公財）高松市学校給食会に補助金を交付することにより、学校給食の質の向上及び学校給食に係る保護者の負担軽減を図る。				
6年度概要	給食会補助金（人件費、賃借料等） 給食会物資調達委託 賄材料費（学校給食食材費）				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

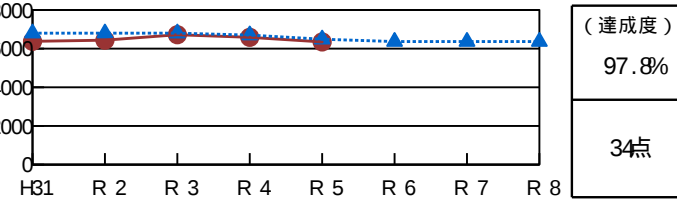
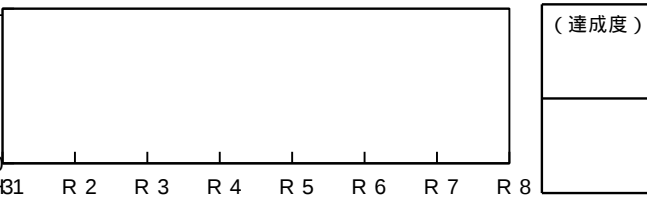
【事業の目的】

対象（何を）	市内小・中学校の児童生徒及びその保護者
意図（どのような状態にしたいか）	学校給食会の運営を円滑に行うことで、学校給食用物資を低廉な価格で安定的な供給を図ること等により、児童生徒に安全で安心な学校給食を提供するとともに、保護者の負担軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
給食実施日数（小中平均）	日	185	182	179	180	180

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	給食実施延べ食数	千食	目標値	6,800	6,700	6,487	6,366	6,487
			実績値	6,719	6,585	6,346		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 児童生徒が減少傾向にあることや感染症による学年・学級閉鎖の影響等で、給食実施延べ食数がわずかに目標値（見込値）に達しなかった。 (目標達成度)  							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度) 							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	39,874	570,228	2,023,213	2,089,075
（事業費）	〔円〕	33,079	563,492	2,016,439	2,082,301
（職員人件費）	〔円〕	6,795	6,736	6,774	6,774

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 児童生徒が減少傾向にあることや感染症により学年・学級閉鎖の影響等で、給食実施日数及び給食実施延べ食数の目標とも、わずかに達成できなかったものの、補助金を交付することにより、安全で安心な給食物資の低廉な価格での安定的な供給を行うことができた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 学校給食会の収支状況について、学校給食会及び教育委員会が共通の認識を持ち、健全な運営を保つ。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2657
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校体育推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	児童生徒の交流の場として体育大会等を開催し、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な児童生徒の育成を図る。				
6年度概要	小学校：陸上記録会の開催、課外活動等外部講師の派遣 中学校：高松地区中学校体育大会の開催及び参加生徒輸送補助、全国中学校体育大会・四国中学校総合体育大会への参加生徒輸送補助、部活動指導員・運動部活動外部講師の派遣等				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

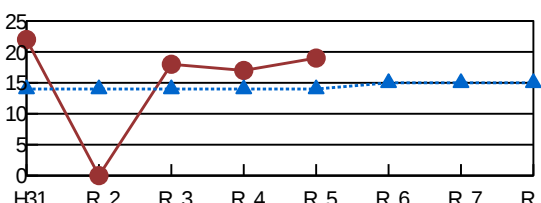
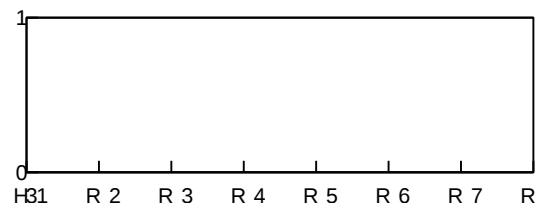
【事業の目的】

対象（何を）	高松市立小中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	各種体育大会等を開催することで、児童生徒の体力・運動能力向上を図り、交流の場を提供する。 また、学校体育の中で、各学校の特色ある「体力向上プラン」を実践し、児童生徒の体力づくりの推進と改善に努め、運動習慣の確立を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
特色ある「体力向上プラン」を実践している小中学校	学校数	70	70	71	70	70

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	全国調査において本市平均が全国平均を上回るか同等の項目	項目数	目標値	14	14	14	15	14
			実績値	18	17	19		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 小学校及び中学校の男女ともに、前回調査（令和4年度）から上昇したものが多くあり、目標を達成できた。							(達成度) 135.7%
								35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	39,098	43,754	44,623	60,815
（事業費）	〔円〕	27,773	32,528	33,332	49,524
（職員人件費）	〔円〕	11,325	11,226	11,291	11,291

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果において、体力合計点は、前回調査（令和4年度）から小学校男子及び中学校男女は上回り、小学校女子は下回った。体力合計点が向上傾向にある学校の体力向上プランの特色ある取組を紹介することで、日常的な取組となるよう促し、今後の体力向上に繋げていく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

これまで、運動習慣に関して二極化が見られたため、教育活動全体を通じた体育活動の計画的・実践的年間指導計画の見直しを行っていく。また、「体力向上プラン」等情報提供による各校の体力向上策の改善・充実と、体育授業の工夫や研修会による指導技術の向上、家庭・地域との連携の推進を行っていく。

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	いじめ等対策事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	小学校におけるいじめ等の問題行動等に対応するため、児童の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止を図る。				
6年度概要	○市内小学校にスクールカウンセラーを派遣し、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止に資する。（1日4時間、年間10回配置） ・事業に要する経費の1/2を市が負担する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

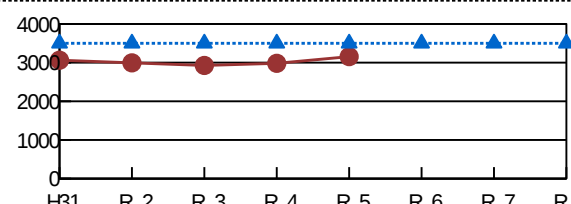
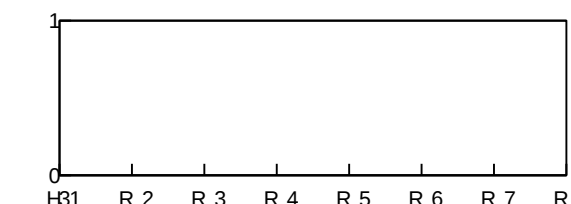
【事業の目的】

対象（何を）	市立小学校の児童、保護者、教員
意図（どのような状態にしたいか）	いじめや不登校等の重大性を認識し、正確かつ迅速な状況把握と早期解決に向けて、小学校の教育相談体制の充実を図るとともに、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
スクールカウンセラー延べ活動時間数	時間	1,800	1,520	1,520	1,520	1,800

【事業の成果】

【事業の成果】		【事業の成果】						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	小学校におけるいじめ、不登校等に関する相談件数	件	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
			実績値	2,927	2,982	3,155		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 109.9%
	より細やかな児童へのカウンセリングや、教職員、保護者への専門的助言・援助、教職員等への事例研修等、スクールカウンセラーの活用により、問題行動等の減少に繋がっており、目標を概ね達成できている。							5点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	7,173	7,382	7,395	8,377
（事業費）	〔円〕	3,398	3,640	3,631	4,613
（職員人件費）	〔円〕	3,775	3,742	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 県事業に対しての負担金の支払いを行っている。学校現場からの配置時間、配置人員等の要望を伝える工夫を行い、より効果のある事業とする。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-6300
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校教育における食育推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるため、学校教育における食育の推進を図る。				
6年度概要	朝日新町学校給食センターでの各種食育関連行事の開催等、市内各調理場の状況に応じたアレルギー対応 私立幼稚園の園児・保護者への指導を通じた、幼児期からの食育の推進 地域の特色ある献立の実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	小・中学校、幼稚園の児童生徒及び園児
意図（どのような状態にしたいか）	様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する知識を習得し、健全な食生活を実践することができる人を育てる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
食に関する年間指導計画を作成している学校数	校	69	69	69	69	69
食に関する年間指導計画を作成している学校の割合	%	100	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	学校給食における県産食材使用率	%	目標値	46.4	46.4	46.4	46.4	46.4
			実績値	46.4	44.2	44.9		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 天候不順などで生産量や収穫量が不足し、必要数量が確保できず、県産食材の使用ができなかった日が多く発生したことにより、目標が達成できなかった。 							(達成度) 96.8% 33点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	食育セミナー開催回数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	0	2	4		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 食育セミナーについては、新型コロナウイルス感染症の影響もほぼなく、目標を達成することができた。 							(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	13,926	14,048	14,654	15,519
（事業費）	[千円]	4,866	5,292	5,847	6,712
（職員人件費）	[千円]	9,060	8,756	8,807	8,807

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度はすべて中止、4年度は2回の実施となっていた食育セミナーを計画どおり実施することができた。県産食材使用率については、天候不順の影響等により予定していた県産食材が使用できず、目標達成できなかったが、令和4年度の実績をベースとして、向上できるよう、今後も関係機関と協議していく。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 朝日新町学校給食センターを食育の拠点として活用し、食育セミナーの開催等引き続き食育の推進に努めるとともに、県産食材使用率の目標を達成することができるよう、関係機関と協議する。			